



# ふれあい福祉

高梁市社会福祉協議会広報紙

第17号

1月15日発行

社会福祉法人  
高梁市社会福祉協議会

・高梁総合福祉センター内  
・電話 (0866) 22-7243

# 賀正



### もくじ

新年あいさつ 他 .....	②	支会だより .....	⑤～⑥
全国表彰受賞者 他 .....	③	寄付 .....	⑦～⑧
手話ボランティアクリスマス交流会 他 .....	④		

# 新年あいさつ

高梁市社会福祉協議会 会長 平田重光

新年あけましておめでとうございませう。

皆様方には、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素から社会福祉協議会の運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと世界各地で自爆テロをはじめ紛争が続くとともに、地球温暖化の影響で自然災害も多発し多くの避難民の方が出ました。また原油高と米国のサブプライムローンなどを背景にした経済低迷の懸念が広がり不安が拡大した年でありました。

国内では参院選により国会のねじれ現象による政治不安、公務員をはじめ各界での不祥事、食品の偽装表示での社会不安、更には地震等自然災害が多発し国民の不安が高まった年であったと思います。

一方、三十八万キロかなたを

飛行している月探査衛星「かぐや」が撮影した青く輝く地球の姿を鮮明に見ることができ感動しました。地球に住む全ての人々が美しく輝く地球の自然環境、社会環境をこれ以上悪化させないように、美しい地球に取り戻し子孫に引継いでいかなければなりません。地球上で生活する全ての人々による相互支援の社会を育むため一人ひとりが謙虚な姿勢で、寛容と奉仕の心を持って最善の努力を重ね、明るい年、素晴らしい今世紀を切り開く幕開けになることを期待いたします。

また昨年四月から市民の皆様が住み慣れた地域で安心感を持ち暮らしていくために、それぞれの地域社会で「ささえあいたすけあい」の地域福祉づくりを推進する必要から会員制度を全市で実施いたしました。多くの方々からご理解をいただき年会費の協力を賜りました。改め

てお礼申し上げます。

皆様から賜りましたご意見にお応えすべく役員一同使命感を持ち地域福祉の推進に取り組んでまいります。

少子高齢化、人口減少が進んでいるなか、安心して生活していくためにはその地域に住む者同志が支えあう以外にはなかるうかと思えます。そういつたつながりのなかで新しいニーズが生まれそれに適切に対応し、市民が安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりのため、市政との連携により、効果的な福祉サービスの提供の推進を行っていきたくと考えています。

社会福祉協議会では多くの皆様に地域福祉づくりの大切さをご理解していただく努力を続け、今後もサービスの地域間格差の是正による地域福祉の向上に努めて参りたいと存じます。

市民皆様の一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

## 方谷園で清掃活動

ボランティア協力校 中井小

十一月二十九日、ボランティア協力校の中井小学校（畦田正博校長）では、方谷園で清掃活動を行いました。

郷土の誇りである山田方谷の業績を記念して造られた方谷園を清掃する活動を通して郷土を愛する心と勤労奉仕の心を育むことを目的としており、全校児童二十三人が活動しました。

作業は六班に分かれ全員で協力して落ち葉かきなどをしました。中井小では、初夏にも方谷園の草取りや清掃の奉仕活動を行いました。



方谷園を清掃する中井小児童

### 全国社会福祉協議会長表彰

田村さん（成羽町）が受賞



平成十九年度全国社会福祉大会で成羽町の田村善末

さんが全国社会福祉協議会長表彰を受賞されました。

田村さんは民生委員・児童委員として多年にわたり社会福祉活動の推進に寄与されました。

### チャリティー募金を社協へ寄付

ポルカ天満屋ハピータウン

十二月四日、ポルカ天満屋ハピータウンから高梁市社会福祉協議会へチャリティー募金を寄付いただきました。

これは、十一月十日にポルカで開催された三ツ木清隆さんによる歌やトークなどのチャリティーショーでの募金で、協同組合ポルカ加藤敏行理事長から平田会長へ寄付金として五万円が高梁総合福祉センターで手渡さ



加藤理事長（中央）から寄付金を受ける平田会長

### 福祉委員へニーズ調査

福祉委員の方に新しい福祉ニーズへの対応について、これまでの地域福祉活動を通じて住民の方から要望のあったことや感じられたことをアンケートにより調査を行いました。

二十二人の方からご意見をいただき、なかでも移送サービスの対象者の制限の緩和と給食サービスの回数の増加希望を多くいただきました。

そのほかでは、地域のほとん

れました。

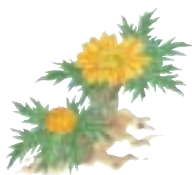
平田会長は「さまざまな自立支援事業に有効につかわせていただきます」とお礼を述べました。

どの方が高齢者なのでその方々が孤立しないよう小地域での交流に対する支援を望まれるご意見をいただきました。

委員皆さんからの貴重なご意見を伺い今後の社協の地域福祉推進事業に活かしていきたいと思えます。

### 【福祉委員の活動】

福祉委員は、選出された福祉区（町内会）を活動の範囲として、住民の皆さんが「安心して暮らせるように、気くばり・目くばりをし、お互いに励まし合い支え合う」という「福祉のまちづくり」のためにお世話をいただいている方です。そして福祉区内の福祉ニーズの把握や福祉情報の提供を行うとともに、地域住民と社協、行政、民生委員とのパイプ役として福祉活動に協力をしていただいております。



### 高齢者の疑似体験

巨瀬小で出前講座

高梁市社会福祉協議会は高齢者疑似体験の出前講座を実施しています。これは疑似体験セットを使用して高齢者や障害者の身体や心の変化を理解し、思いやりの心を身につけてもらう目的で行っているものです。

巨瀬小学校（大内道登校長）では「総合的な学習の時間」で高齢者の理解を深める学習をしており十二月五日、体験学習を行いました。この日は五、六年生二十一人がペアとなり、おもしろいやサポーターで手足の動きを制限して高齢者の日常生活動作と介護方法について体験しました。

体験した児童は高齢者の周囲



高齢者の疑似体験をする巨瀬小児童

には危険が多  
く存在してい  
ることを認識  
していただきました。

## クリスマス交流会に50人が参加

### 手話ボランティアの会

高梁市手話ボランティアの会（山川千鶴子会長）は十二月六日、高梁総合福祉センターでクリスマス交流会を開催しました。

この事業は、聴覚に障害のある方とともにボランティア会員相互の親睦と地域住民、大学生との交流を目的に毎年行われています。この日は成羽町、備中町の手話サークルからの参加もあり、会場には五十人が集まりました。

開会では山川会長が「ボランティアの会が発足して十七年目です。これまでの活動が認められ、十月に県知事表彰をいただきました。皆さんの協力のおかげです。これからも精進していきたいと思っています」とあいさつ。

続いて来賓の平田会長が「人はいろいろな情報を得て人間として生きがいある楽しい生活を送ることが出来ます。障害者に情報を与える手話ボランティアの皆さんの活動により誰もが誇らしい人生が送られるよう期待します」とあいさつをしまし

た。交流会では、会員や学生の手話劇やゲームなどで親睦を深めました。



手話劇「大きなかぶ」を演じる会員

## コンプライアンスと

### 基礎知識の習得

#### 地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業の「利用者支援に必要なコンプライアンス（法令遵守）と基礎知識の習得」を目的とした研修会が、岡山県社会福祉協議会の主催により十一月六日から二日間の日程で岡山市のきらめきプラザで開催され、高梁市社会福祉協議会から九人の生活支援員が参加しました。

高齢者や障害者の生活支援にあたるうえでは、福祉分野だけでは解決できない複雑な生活課題に対応することが必要になる場合があります。その問題を解決する為には、様々な専門家と協働していくとともに基礎的な知識を習得する必要があります。

この研修会では、利用者支援において必要なコンプライアンスや利用者の生活を支える年金制度や成年後見制度、死亡後の相続・遺言についての講義があり、参加した生活支援員は「普段勉強できない専門知識を学ぶことができてとても良かった。今後は今以上に知識を深め利用者が幸せな生活が送れるよう支えていきたい」と話されていました。



19年度から始められた基礎研修会

## 歳末たすけあい募金に協力

### 高梁市仏教会

高梁市仏教会（会長 生島裕道頼久寺住職）では十二月七日、会員八人が歳末たすけあい寄金の托鉢を実施されました。

仏教会からは、毎年托鉢により歳末たすけあい募金に協力いただいています。師走の寒い中にもかかわらず、多くの方からたくさんの方の浄財が寄せられました。

この浄財は歳末たすけあい募金として、岡山県共同募金会高梁市支会に贈られました。



# 支会だより

## 成羽

### 歳末たすけあいチャリティーバザーを開催

十二月一日から二日間、成羽総合福祉センターでチャリティーバザー（圓橋克治実行委員長）が行われ、成羽地域内外の方から寄贈のあった家庭用品や書画などの美術品が販売されました。バザー収益金は、高梁市社会福祉協議会へ贈られ歳末たすけあい事業などにつかわれていただきました。

ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。



大勢の人でにぎわった会場

## 布寄小児童が入居者と交流 グループホームささゆり苑

十一月十六日、布寄小学校（藤井宏市校長）の全校児童九人はグループホームささゆり苑を訪問し、入居者とともに落ち葉かきや窓拭きなどの清掃奉仕をしました。

掃除を終えてからは、児童との懇談により八人の入居者は楽しい時間を過ごしました。



清掃活動をする布寄小児童

## 有漢

### 96人がグラウンドゴルフ

有漢地域老人クラブは十一月十五日、スポーツパーク有漢でグラウンドゴルフ大会を開催しました。この大会は、クラブ員の健康づくりと相互のふれあいを目的に毎年開催され、今年で六回目。

この日は天候にも恵まれ、九十六人が参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。



96人が参加したグラウンドゴルフ大会

## 川上

### 地区ボランティアが友愛訪問

「まごころ弁当」を届ける

川上地域では、九箇所の地区ボランティアが一人暮らしの高齢者二百十二人を対象に十二月十三日から地区ごとに友愛訪問を実施しました。

ボランティアの会員はちらし寿司やブリ大根など季節感のある「まごころ弁当」を作り訪問しました。

会員が「寒い時期なので身体を大切に」と弁当を手渡すと「皆さんの気持ちがあります」と喜ばれていました。

会員は「今後も地域での支え合いの気持ちを忘れずにボランティア活動を続けていきたい」と話されました。



弁当づくりをするボランティア会員

### 白寿おめでとうございます

川上町高山、小田上壽男さんが十一月二十三日、九十九歳の誕生日を迎えられ、森下川上支会長からお祝いの記念品を贈呈しました。

長寿の秘訣は「お酒を毎日少しずつ飲むこと」と話されました。

これからも健やかに過ごされますようお祈りいたします。



記念品を受ける小田上さん

## 備 中

## 利用者が門松づくり

生きがいデイサービス

十二月十二日、備中デイサービスセンターの玄関に門松の飾りつけを行いました。

門松づくりは、毎年デイサービスセンターの職員が行っているもので、材料の竹、松、南天、葉牡丹などは、地元の方々から提供をいただいております。

今回の飾りつけは、生きがいデイサービスの富家地区の利用者二十五人が職員とともに行いました。

立派な門松ができ、訪れる方々を迎えています。



利用者と職員による門松づくり

## 認知症予防の

## 7箇条

認知症にならない人には共通した習慣があります。二十一世紀の団塊世代の退職者の方を基に考えて認知症予防の七つのポイントを紹介します。

## 1 散歩をする

人間の老化は足からきますが、歩くことにより頭への血流が促進されますので歩くことが大切です。ただ散歩するだけではなく俳句や歌をうたいながらといったように感性を刺激しながら散歩をすれば、さらに予防に効果的です。

## 2 新聞や本を読む

活字を読む習慣のある人は認知症になりにくいというデータが出ています。新聞の「コラム」は声を出して読む。これはウォーミングアップとして声を出すことにより声帯が開閉し、聴覚が働くなど脳神経の大半が動因されます。

## 3 料理をつくる

「男子厨房に入らべからず」という諺は早く捨てるべきです。料理づくりは非常に創造性が高いため予防に有効です。挑戦しようという意欲が大切です。

## 4 社会との関係を絶たない

定年退職した人は社会との関係が少なくなりがちです。そうした状況が認知症への誘因となります。積極的に地域活動などへ参加をしましょう。

## 5 外出をする

日帰り旅行でも出かけることにより、緊張感と刺激を受けて毎日の生活の中にメリハリがつきます。また乗り物の進歩が世の中の進歩を最も繁栄しているものだと考えます。

## 6 恋心をもつ

男女とも異性を好きになる為に生まれてきています。人を好きになれば美しくありたいとか若くいたいと思う気持ちが強くなって表情が変わります。

またおしゃべりになり、出かける習慣もついてきます。いくつになっても恋心をもちましょう。

## 7 日記をつける

朝から晩までのことを思い出す習慣として日記をつけてみましょう。最も三日坊主になりやすいものへ挑戦するのです。イベントなどを書かなければと思うと苦痛になります。構えて書くから続かないのです。

一日を思い出し、その日のうち一番楽しかった事を一つ書くようにすれば、回想の習慣がつき記憶が身につけてきます。

(神奈川県湘南長寿園病院長  
フレディ松川先生の講演より)



認知症研修会で講演する松川先生

# 社会福祉協議会へのご寄付

19年11月~12月

## ありがとうございました

高梁市社会福祉協議会へ平成19年11月と12月にいただいたご寄付についてお知らせします。心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。

なお、金額等については寄付者の意向によって掲載しています。(敬称は略させていただきます。)

### 〔香典・玉串料・御花料返し〕

#### 《高梁支会》

金一封 松山 平田 稔也 (故・若代様のー)

金一封 高倉町 森平 和弘 (故・博様のー)

五万円 南町 大塚美智庫 (故・喜美様のー)

金一封 原田町 大見 優子 (故・稔様のー)

金一封 松山 須山 豊 (故・二三枝様のー)

金一封 高倉町 三村 孝司 (故・進男様のー)

金一封 上谷町 中山 廣子 (故・悦太郎様のー)

金一封 津川町 井上 嬉子 (故・敏夫様のー)

金一封 宇治町 笹治 伸夫 (故・雄辰様のー)

金一封 川面町 大榎 金一 (故・登行様のー)

金一封 本町 長櫓 伸二 (故・井伊功様のー)

金一封 川面町 家林 幸一 (故・玉世様のー)

金一封 中井町 井平 季士 (故・勝文様のー)

金一封 落合町 西林 俊幸 (故・延天様のー)

金一封 川面町 柴倉作太郎 (故・浪恵様のー)

金一封 川面町 新山 勲夫 (故・忠夫様のー)

金一封 川面町 山上 雄也 (故・敏夫様のー)

金一封 川面町 西村 侑 (故・節夫様のー)

金一封 落合町 小林 為治 (故・浅代様のー)

金一封 落合町 太田 勝彦 (故・真市様のー)

金一封 川面町 岡本 圭司 (故・朝子様のー)

十万円 落合町 田中 茂 (故・信雄様のー)

金一封 松原町 野口 文枝 (故・久子様のー)

金一封 内山下 柳井 幸雄 (故・春男様のー)

金一封 松原町 平松 久子 (故・玉子様のー)

金一封 玉川町 南 圭一 (故・康二様のー)

金一封 津川町 平居登志恵 (故・貞子様のー)

金一封 南町 森本 政一 (故・小野薫様のー)

十万円 巨瀬町 石田 博孝 (故・よし系様のー)

金一封 高倉町 三村 孝司 (故・三村隆一様のー)

金一封 岡山市 杉村 豊裕 (故・すみ江様のー)

金一封 落合町 吉岡 忠治 (故・薫様のー)

金一封 倉敷市 三宅 康夫 (故・太一様のー)

金一封 津川町 井上 嬉子 (故・一江様のー)

《津川地区》

金一封 津川町 植野 仁裕 (故・節夫様のー)

金一封 津川町 平居登志恵 (故・昇様のー)

《川面地区》

金一封 川面町 新山 勲夫 (故・小野薫様のー)

金一封 川面町 山上 雄也 (故・忠夫様のー)

金一封 川面町 大榎 金一 (故・節夫様のー)

金一封 川面町 家林 幸一 (故・登行様のー)

金一封 川面町 柴倉作太郎 (故・玉世様のー)

金一封 川面町 浪恵様のー (故・浪恵様のー)

金一封 川面町 太田弥太郎 (故・浪恵様のー)

金一封 川面町 西村 侑 (故・包代様のー)

金一封 川面町 浅代様のー (故・浅代様のー)

《玉川地区》

金一封 川面町 岡本 圭司 (故・信雄様のー)

《宇治地区》

金一封 宇治町 関 忠 (故・貞子様のー)

金一封 宇治町 今代様のー (故・今代様のー)

《松原地区》

金一封 松原町 野口 文枝 (故・雄辰様のー)

《高倉地区》

金一封 高倉町 森平 和弘 (故・康二様のー)

《成羽支会》

金一封 成羽 徳森 典子 (故・春男様のー)

金一封 成羽 房よ様のー (故・房よ様のー)

《有漢支会》

金一封 有漢 植木 政夫 (故・博史様のー)

金一封 有漢 上森 満恵 (故・政子様のー)

金一封 有漢 島木 茂 (故・末子様のー)

金一封 有漢 片山 佳美 (故・博史様のー)

金一封 有漢 藤本美代ノ (故・教恵様のー)

金一封 有漢 鶴衣様のー (故・鶴衣様のー)

金一封 有漢 村田 誠 (故・豊太郎様のー)

金一封 有漢 山本 幸美 (故・浮森桂子様のー)

十万円 有漢 村田美智子 (故・茂登男様のー)

金一封 有漢 子原 勝正 (故・二見様のー)

金一封 有漢 植木 政夫 (故・二見様のー)

金一封 有漢 大森 勇 (故・堅様のー)

金一封 有漢 信原 貢 (故・澄子様のー)

- 金一封 成羽 今西 久夫 (故・千鶴子様のー)
- 金一封 成羽 松平 紀子 (故・哲様のー)
- 金一封 下原 大東 達郎 (故・軍治様のー)
- 五万円 下日名 原田 武 (故・カメノ様のー)
- 金一封 倉敷市 松田 誠臣 (故・富美代様のー)
- 《川上支会》
- 金一封 岡山市 三編 豊次 (故・すみ様のー)
- 金一封 岡山市 山崎 修逸 (故・燦子様のー)
- 金一封 七地 大塚 敏行 (故・敦子様のー)
- 金一封 美星町 弓取伊津子 (故・三村淳子様のー)
- 金一封 下大竹 森川 浩吉 (故・三十二様のー)
- 金一封 高山 武田 英夫 (故・昭二様のー)
- 金一封 七地 田中 繁一 (故・馨様のー)
- 金一封 岡山市 長谷川 登 (故・栄様のー)
- 金一封 仁賀 實安 一美 (故・壽明様のー)
- 金一封 倉敷市 高橋 一郎 (故・典男様のー)
- 金一封 三沢 橋本 忠志 (故・歌次様のー)
- 《備中支会》
- 金一封 布賀 藤原 裕幸 (故・嘉男様のー)
- 金一封 布賀 中嶋 国雄 (故・信男様のー)
- 金一封 平川 瀬戸川角夫 (故・好江様のー)
- 金一封 落合町 間地 誠 (故・マサコ様のー)
- 金一封 東油野 田村 進 (故・勇様のー)
- 金一封 平川 石井 操 (故・コハル様のー)
- 金一封 西油野 小林智恵子 (故・輝治様のー)
- 金一封 西油野 池田 健一 (故・國男様のー)
- 金一封 東油野 川上 松枝 (故・坦志様のー)
- 金一封 平川 森川 了一 (故・光男様のー)
- 金一封 倉敷市 松岡 明彦 (故・龍一様のー)
- 《一般寄付》
- 《高梁支会》
- 金一封 匿名 (社会奉仕として 第二八二・二八三回目) 二万二千八百八十円
- 高梁地域民生委員・児童委員 女性部 (一般寄付として) 五万円
- ポルカ天満屋ハピータウン (三ツ木清隆チャリティー募金として) 四万六千円
- 《中井地区》
- 中井町チャリティーゴルフ会 (年末チャリティー金として)
- 《有漢支会》
- 金一封 有漢 宮城 幸正 (退院内祝いとして)
- 金一封 有漢 佐分利榮二 (叙勲記念内祝いとして)
- 金一封 有漢 藤井 雪江 (退院内祝いとして)
- 金一封 有漢 上田 一郎 (退院内祝いとして)
- 金一封 有漢 森川 誠 (退院内祝いとして)
- 金一封 真庭市 クリーン発酵株 (一般寄付として)
- 金一封 上有漢 大森 哲夫 (退院内祝いとして)
- 金一封 有漢 大月 由雄 (退院内祝いとして)
- 《成羽支会》
- 金一封 匿名 (一般寄付として)
- 自衛隊父兄会成羽分会 (一般寄付として) 七十一万五千三百二十六円
- 成羽町 歳末チャリティー バザー実行委員会 (チャリティーバザー収益金) 金一封 仁賀 山室千代子 (退院内祝いとして)
- 金一封 下大竹 大田 正隆 (退院内祝いとして)
- 金一封 上大竹 柏木 茂男 (退院内祝いとして)
- 金一封 七地 三笥 久子 (退院内祝いとして)
- 金一封 七地 川上 史依 (退院内祝いとして)
- 金一封 三沢 村井 秀男 (退院内祝いとして)
- 金一封 仁賀 亀石 茂 (退院内祝いとして)
- 金一封 下大竹 滝川 美子 (退院内祝いとして)
- 金一封 下大竹 藤本喜美子 (退院内祝いとして)
- 《備中支会》
- 金一封 布賀 岡 一栄 (退院内祝いとして)
- 金一封 東油野 川上 清一 (退院内祝いとして)
- 金一封 布賀 内田 芳男 (一般寄付として)
- 金一封 西油野 村上 百栄 (退院内祝いとして)
- 金一封 東油野 佐古澄美子 (退院内祝いとして)
- 金一封 平川 下向 保子 (退院内祝いとして)
- 金一封 布賀 福嶋 平 (退院内祝いとして)
- 金一封 布賀 内田 芳男 (一般寄付として)
- 金一封 東油野 田中 貞子 (退院内祝いとして)
- 金一封 西山 芳賀 正夫 (一般寄付として)
- 金一封 平川 今井 小一 (退院内祝いとして)

# お知らせ

## 福祉移送サービスの利用

福祉移送サービスを四月一日から引続きご利用される方は、継続会費の納入が必要となります。会費を納入されていないと四月一日からのサービスが利用できなくなりますのでご注意ください。

▼会費 一、〇〇〇円/年

サービスを希望される方は社会福祉協議会本所・各支所へお問い合わせください。

## 身体障害者巡回更生相談

相談日 二月五日(火)

受付 十時～十一時

審査開始 十時三十分

科目 肢体・聴覚

内容 補装具(義肢、装具、補聴器など)の交付や修理の相談等

その他 相談は無料(補装具の交付、修理は原則として)

一部の負担が必要です。

会場 高梁総合福祉センター

持参品 印鑑、身体障害者手帳

問い合わせ

市社会福祉課

☎ 0284